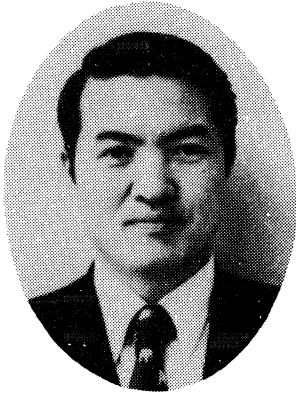


## 序



社会環境が大きく変化しつつある現在、教育行政には基本を踏まえた高い理念と、時代の動きを読み取る先見性とが、これまで以上に強く求められております。

昨年から今年にかけて、社会は大きく変わりつつあります。世界的規模では、冷戦構造の崩壊という歴史的な変革がありました。一方、我が国に関しては、貿易問題等を契機に、国際社会の有力な一員にふさわしい国づくり、社会づくりを求める声が国の内外で急速に高まり、その結果、新たな考えに基づいた様々な試みが始まりました。

このような意味で、平成元年度は時代の大きな転換期であったと言えますが、この一年間に福島県教育委員会では「心豊かな たくましい人間」の育成という目標を高く掲げながら、社会の動きと時代の要請を踏まえた数多くの事業を実施して参りました。情報処理教育の一層の拡充を図るための教育センター情報棟の増築、教育課程の改善・充実を目指した、普通科等設置校における「創造性豊かな魅力ある学校づくり推進事業」、さらには、県民の生涯にわたる学習機会の充実を図るための「長寿学園」・「福島女性カレッジ」の開設、これらは、その具体例の一部です。

本年報には、平成元年度の事業実績の詳細が記録されております。その成果を引き継ぎ、新たな発展へと歩を進めるときに、この小冊子は大いに役立つものと確信しております。本県の教育を推進する多くの方々にご活用いただきたいと願うものです。

平成 2 年 10 月

福島県教育委員会

教 育 長 大 内 忠 昭